

「強い意志 人生触れて」

筑西市出身の陶芸家、板谷波山の没後50年に合わせた記念映画「波山をたどる旅」が完成し、主演のミス日本ミス着物の海老澤佳奈さん(21)＝水戸市出身＝が7日、県庁内で記者会見を開き、「強い意志を持ち、作品を作り続けた波山の人生に触れてほしい」とPRした。映画は18日から順次、県内の美術館などで無料公開し、学習教材として活用を進めるため、上映希望を募るという。

18日から無料公開

は、1部の主役と2部のインタビュアーを務めた。「初めての演技だったので、どんな風に見てもらえるのかドキドキしている」という。

成した映画をアピールした。
(松本隆吾)

◇
映画の上映は、県近代美術館(18日、2月26日～3月3日)▽筑西市のスピカ(1月19日)▽県陶芸美術館(20日、22～27日)の3カ所(無料)。それぞれ上映初日に出演者の舞台あいさつを行う。

◇
その後は、学習教材として無償提供する方針。県内の小学生から大学生などを対象にした上映の申し込みを受け付ける。問い合わせはプロジェクト茨城宮029(244)3941。

映画「波山をたどる旅」完成



記者会見した主演の海老澤佳奈さん＝県庁

作品は、映像事業を通して地域振興に取り組む団体「プロジェクト茨城」(金澤大介代表)が、今年の波山没後50年目に合わせて企画。近代陶芸の巨匠と呼ばれる波山の人生を広く知ってもらおうと、西川文恵監督(34)らが昨年6月から、県内ロケ地などで撮影を進めてきた。

第1部(40分)は主人公の美大生が波山の生涯を学びながら成長する物語。第2部(50分)は波山の親族や有識者へのインタビューをまとめた。

2012年ミス日本ミス着物の海老澤さん